

第3回 恵庭創生懇談会（要旨）

（第3回）

議題：（1）地方創生推進交付金について（報告）（2）地方創生の取組の状況について（報告）（3）恵庭市総合戦略（改定案）について

日時： 平成28年12月21日 16:00～17:30	場所： 恵庭市役所3階 第1委員会室
出席者： 北海道大学公共政策大学院特任教授	小磯 修二
恵庭工業クラブ サッポロビール(株)北海道工場 副工場長	増淵 隆昭
北洋銀行恵庭中央支店長	小松 節男
北海道銀行恵庭支店長	高橋 克巳
恵庭市政記者クラブ 千歳民報社 代表	大澤 雅松
連合北海道恵庭地区連合 会長	梅津 俊一
千歳公共職業安定所 所長	葛西 春季世
北海道文教大学 副学長	橘内 勇
産業技術学園 事務局長	切明 毅
北海道石狩振興局地域政策部戦略策定支援担当部長	田辺 きよみ
作成部署： 企画・広報課 総合戦略担当	作成者： 中山 真

議事録内容(1/7)

	会議次第
	1. 開催あいさつ
	2. 市長あいさつ
	3. 議事
	(1)地方創生推進交付金について(報告)
	(2)地方創生の取組の状況について(報告)
	(3)恵庭市総合戦略(改定案)について
	4. その他
司会	大槻企画振興部長による第3回恵庭創生懇談会開催あいさつ。
原田市長	原田恵庭市長あいさつ。恵庭創生懇談会出席お礼。今年1年、静岡県藤枝市との友好都市提携、藤枝市との農商工連携、台湾投資セミナー、花の拠点整備など様々な事業を展開した。地域の経済に貢献できると考えている。恵庭の人口も増えてる。人口ビジョンでは5年間で600人増が目標。既に300人近い転入者増がある。恵庭の魅力を発信し、多くの方に移住定住していただきたい。今後とも皆様方のご支援をお願いしたい。
司会	恵み野商店会会長 小笠原委員の欠席を報告。 本日の議題・資料について確認。 以降の司会については、小磯座長に依頼。
座長	小磯座長あいさつ。青年会議所の全道大会(JCが取り組む地方創生のコンテスト)で、恵庭JCが最優秀賞を獲得。地元の資源を活用し、行政をはじめ官民一体となった取り組みが恵庭で進んでいることを改めて感じた。引き続き委員の皆様にはご協力をお願いしたい。 議事(1)地方創生推進交付金について(報告)について事務局から説明求める。

議事録内容(2/7)

事務局	<p>議事(1)地方創生推進交付金について(報告)について説明。</p> <p>地方創生推進交付金第2回申請に3つの事業を申請した結果、対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業のみ不採択となった。今年度予定していた投資家招聘については、交付金を財源とせず、一般財源において実施する。次年度の推進交付金の取り扱いは不透明だが、交付金を獲得すべく、さらなる事業のブラッシュアップを進めたい。</p>
座長	<p>3つ申請して2つ採択。3番目の投資家招聘だけ不採択ということだが、なぜか。</p> <p>自主財源による稼ぐ力が弱いと判断されたのか、どのような説明を受けたのか。</p>
事務局	<p>地方創生推進交付金の活用は、官民連携により地元のプラットフォーム等が自立できるか、ストーリーづくりが重要。</p> <p>自主的な収入はあるが、自立するまでの収入が見られない、弱いと指摘された。</p>
座長	<p>ただ、投資家の招聘は将来に繋がるきっかけづくりとなる。これだけで稼ぐというものではない。</p>
事務局	<p>日台の友好協会の収入のみを載せて計画を提出した。その他にも波及効果等を盛り込んで提出する必要があると考える。</p>
座長	<p>議事(2)地方創生の取組の状況について(報告)の説明求める。</p>
事務局	<p>議事(2)地方創生の取組の状況について(報告)の説明。</p> <p>仮称緑と語らいの広場複合施設整備事業に係る事業者選定結果について報告。事業概要について説明。</p> <p>南島松地区住宅整備、恵み野北5丁目ノースガーデンの説明。</p> <p>台湾・恵庭市企業商機拡大セミナー実施の説明。</p>
市長	<p>緑と語らいの広場については大変期待をしている。実際に図書館恵庭分館には年間3,200人来場、保健センターに1万2~3千人、市民活動センターに数千人、学童クラブ、子どもセンター、憩の家の来場者を合わせると5~6万人以上の方々がその施設に集まると予想される。駅前ならではのイベントも行い、地域の賑わいを創りだせればと考えている。</p>
座長	<p>うまく人の流れを作り上げていく創意工夫も併せて、施設の機能を高めていくことも大事な要素である。</p>
市長	<p>恵庭駅前には恵庭南高校の生徒が自転車で通り、東側は文教大学の学生がいる。学生も呼び込めるといい。</p>
座長	<p>住宅地造成の方は成約の動きがあるようだが、今の手ごたえはどうか。</p>
副市長	<p>既に30件を超える予約、契約済みで期待できる。</p> <p>花の拠点、道と川の駅の奥では最低でも90坪程度の土地を用意しようと思っている。</p>
座長	<p>台湾でのトップセールスの手ごたえはどうだったか。</p>
市長	<p>良い話はすぐにはできない。日本、北海道に投資をしようという意欲はある。</p> <p>観光面では空港に帰る、空港に着いてからの空き時間、ホテルまでの間、冬の運動をしようかということで旅行パッケージをつくりたいと言っている。今後、そのようなことが具体化するのではないかと思う。</p> <p>北海道の米、日本の米が欲しいということで試験的に恵庭の米が台湾に行っていて、受け皿になってくれる事業所、こちらから送る事業所もあるということで拡大していくのではないかと考えている。</p> <p>ホテルについては、なかなか大変。建物があって、そこを買ってやりたいと言われるが、元々ホテルも建物も無い。</p> <p>日本に来て投資するときは、できるだけリスクを小さくしたいと思うのではないか。</p> <p>ただ、土地の値段や建設コストは安いとお知らせをしたので、興味をもってはいる。</p>
座長	<p>投資は環境づくりが大事。恵庭のことを理解し、魅力を知ってもらい、その中から直接投資が生まれる。</p> <p>こういう取組みを継続していき、次につなげていくことが大事。</p>

議事録内容(3/7)

E委員	隣のまちでは駅の近くに中国の方々を受け入れる施設を造っている。
市長	恵庭は千歳、札幌に比べると知名度が格段に低い。恵庭の利便性を恵庭に来て感じていただきたい。 特に投資家の皆さんに来ていただきたい。
座長	(3)恵庭市総合戦略(改定案)について事務局から説明を求める。
事務局	(3)恵庭市総合戦略(改定案)の説明。 修正、変更、追記、統合している箇所について説明。
座長	新しい施策を取り込み、更にKPIを高める意欲的な改定と感じる。
E委員	言葉の定義の問題で、9ページ⑩大学生・専門学生・高校生・中学生を地元学生と区切っているが、 文科省や新聞は大学生・専門学生は学生、高校生・中学生は生徒、小学生は児童という。 この部分を地元生徒・学生としたほうが良いと思う。
事務局	修正したい。
I委員	同じ言葉の定義の問題で、8ページ⑭就職応援セミナーの、学生・父母とあるが、今は父母とは言わないで保護者という。
事務局	修正したい。
D委員	南島松地区の住宅地整備は、戸数的に50、60宅地という中で90坪以上に拘っているということか。 例えばガーデンデザインプロジェクトの一環として、花の拠点に隣接しているため、広めの土地という発想なのか。 その辺をどのように考えているのか、参考に教えていただきたい。
副市長	基本的には庭を広くしたい。それと都市計画で、人口配分が限界にきている。 区画数をこの程度にしないと人口配分の関係でクリアできないという問題もある。 都市計画をするときに、この地区で170人分しか市街化区域を増やせない。実際に住み始めればそうでないが。
D委員	都市計画上でいくとそうなるわけですね。 その絡みでどうしても、頭割りでやっていくとこうなる。
副市長	1世帯3人程度と考えれば、50区画で150人。このような制約がある。 もう一つは、値段の関係で小さい区画が買いやすいと。60坪くらいになると非常に求めやすい価格になる。 一方で、雪のことを考えれば手狭感があるなど。
D委員	なるほど。
副市長	そのようなことも併せて、花の拠点に隣接するという意味合いも含めて大きめにした。複合的な要素もある。
D委員	今、ハウスメーカーも仕込みの土地が無く苦勞していると聞く。 二世帯住宅をターゲットとした戦略をやっているメーカーもあると聞いたので、その部分も絡めてあるのかと思った。
副市長	二世帯住宅等のハウスメーカーの戦略は当然あると思う。前段としての制約もある。
D委員	内容については理解した。

議事録内容(4/7)

G委員	北海道は車が一家に2台あったりする。家を建てて駐車スペースがあって、さらにガーデニングをするのであれば、100坪程度ないと本格的なガーデニングはできないと思う。もう少し広くてもいいのではないかな。
部長	実は別なところにも優良田園住宅がある。平成23年に売りだして、5年間でほぼ100%売れている。そこが160坪平均。もう一つ恵み野団地もある。緑と一戸建てを両方兼ね備えたものを観光施設である花の拠点の奥で、恵み野でこういう生活ができるということで、先ほど言われた通り対象数は限定されると予想。ハウスメーカーによって対象数を捉えているところと捉えていないところがあり、それはだいたいわかっている。あるハウスメーカーは90坪やりたいと言っていた。本当は330でやりたかったが、90坪ほしいと。これがないと困ると言われ、3年で完売は無理だが、5年くらいかと。
市長	我々が一番考えなければならないのが、魅力あるまちづくり。宅地を造ったから売るということではなく、まちの魅力で恵庭に住もうかとなればいい。まちの魅力をつくりたいというのが総合戦略の精神。一方で、総合的な政策も考えていきたい。
G委員	電柱の地中化を提案。電柱あるなしの光景を比べると全然違う。
副市長	恵み野の一部にあるが、どうしてもコストがかかる。なかなか難しい。特定のブロックだけ地中化しても。
部長	以前、優良田園住宅で地中化をやろうと思ったが、諦めた経緯がある。今回も挑戦はしてみる。
G委員	青森県の一部ではねぶた祭りのために電柱を地中化した。町並みは見違えるように違い、駅前の風景も変わった。可能であれば、地中化してみてもどうか。
座長	電柱の地中化はインフラ整備のなかで、一番進まない部分。政府全体が景観を重要視した総合政策に進めば、事業者の協力も得られるのではないかな。大きな課題の一つとして進めていかれると思う。
E委員	目次にガーデンデザインプロジェクトの記載が無い。
事務局	追記したい。
E委員	12ページ以降の参考がチャートのようになっていてわかりやすい。 3ページ目にも参考があるとわかりやすいのではないかな。
事務局	追記したい。
J委員	女性就労促進の表現を変えているが、中身の方向性も変えていくという理解でよろしいかな。
事務局	当初、工業団地に通う方の足の確保が一つの要因ではないかと考えていたが、総合戦略をつくった後に女性の方々に就労意識調査をかけたところ足の問題はあまり大きな課題として捉えられていないことがわかった。対策は考えるが、大きなところで対策を別で考えていかなければならない部分もあるのではないかなということ少し表現を変えている。
市長	各種施策って何をやるんだという部分もある。就労のための保育所整備等やるわけだが、具体的ではない。
事務局	意識調査の中で自分の働きたい時間に働ける体制整備など、企業側に対する要望が比較的に多かった。調査結果の周知は行政にできる。行政としての対策はという難しい部分もあるが、継続して対策を考えていきたい。恵庭の女性の就労状況、就業率は北海道の近隣市と比べて若干低い。経済部でも就労対策、セミナー等を実施しているが、結果がまだ見えてこない。

議事録内容(5/7)

市長	意識調査結果を見ると休みたい時に休みたい、限られた時間で働きたいという要望もある。 一方では研修、スキルを身につける必要性等も言っている。具体的なものをこの中に含めて記載するよう検討したい。 例えば、多様な保育ニーズに対応するとか、文言を工夫をしたい。
座長	市として何ができるか難しい問題ではあるが、就労の促進は大事な点。ミスマッチを解消していくことも大事。 情報の提供は自治体においては工夫すればできる部分なので、施策を検討していただきたい。
市長	慢性的に製造業の企業、工業は人手不足。 条件が合えば働きたいという人と企業をマッチングできれば、企業にとってもいいと思う。
B委員	緑と語らいの広場複合施設で、民間集客収益事業について投資案件等はどのように考えているか。
部長	具体的には資料2-1の部分。民間と統合して、事業の概要としては民間部分が1,400㎡で、フィットネスや コンビニエンスストアが出てきている。総合戦略の改定版を策定しているときは、民間事業が決まっていなかった。 現段階ではこの部分が入ると考えている。
B委員	もう1点、ふるさと納税について、今年上方修正して大変良かったと聞いているが、 この後、数年の計画の中で、どのような手段を打っていかうと考えているのか、お聞きしたい。
部長	ふるさと納税の寄附額は今年8,000万円を超えるのではないかと見込んでいる。 次年度以降も、今年以上の寄附をしていただければと思っている。新たな魅力があるもの、産品を拡大していきたいと 担当者も考えている。使い方について基金の見直しも行い、目的に合った使い方、集め方を工夫して広げていきたい。
市長	北海道となると乳製品、肉の産品を持っているところは寄附が多いようだ。できるだけ返礼品の品物を多くしていきたい。 全国の方がお客さんなので雑誌、宣伝も効く。某ファミリーレストランで恵庭の返礼品が紹介され、その結果、寄附が 多くなったということもあり、そういう宣伝を活かしたPRも考えたい。
B委員	全国を見ると、告知の仕方では波が出ると聞く。検討していただきたい。
座長	ふるさと納税の推進の中に、企業版ふるさと納税は入っているのか。
市長	検討はしているが、まだ具体的なものになっていない。
座長	返礼品目当てではない、地域の政策に魅力と関心を持って寄附する企業版ふるさと納税は、長い目で見ていけば大事な 取組みになってくる。今の制度はハードルが高いからやらないのではなくて、そのハードルを下げるための声を出していく。 国税にも係る減収も懸念されるという意味で、国のハードルは高いと予想するが、だからこそ地方創生であって、議論も 大切だと思う。ご検討いただければと思う。
H委員	恵庭市の人口が若干増えているとお伺いしたが、今後も増えていくと予想しているのか。 数値目標で平成27年～31年の純移動数が出ているが、+624人増えるということか。
市長	目標値ではあるが、5年間で624人の転入者を狙いたい。現在290人～300名の増となっている。あと3年間で 300名増を狙いたい。その可能性は、移住することができる団地開発、30年を目指して団地増設することもあり、 人口を増やしたいと思っている。自衛隊官舎、雇用促進住宅がどのような形で民間に移動するかによっては 土地ができることもある。平屋、二階建ての市営住宅が集約化することによって土地ができる可能性も検討事項で、 計画中である。そういうことをしていけば、市外から入っていただける形がつかれるのではないかとと思う。

議事録内容(6/7)

H委員	(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくりに、人口減少という言葉が入っている。 人口減少するのなら恵庭に住むのをやめようとする人もいる気がする。
市長	自然減は着実に進んでいる。なんとか転入増でカバーして今の人口を保っている状況。 自然減に負けない、挑戦をしていこうという思いの文章である。
F委員	恵庭に住み続けたい、恵庭で働き続けたいと思えるような魅力のある取組みが総合戦略の中に一つあるといいと思う。 先日、旭川市が公契約条例を制定した。恵庭市として、市から委託している環境の働きやすさを確保するような取組みがあればいいと思うが、そのような取組みがあれば教えていただきたい。
副市長	公契約条例は、恵庭市の議会などでも問題となっている。最近、労務単価の改定によって工事契約を途中で見直すこともやっているが、見直した部分が着実に働く人に回っているのかなど、以前から公契約条例は話題となっている。 今後の地域の課題であることは間違いない。労務単価の上昇分をどういった形で反映させ、どのように定着させるか。 移住定住でも働く場所があるかどうか、安定的な雇用の場が必要で、大きな課題でもある。 具体的な目標として総合戦略には載せていないが、取り組んでいくべき課題だと認識している。
市長	就労促進に障がい者や高齢者就労事業と記載した。恵庭には自衛隊を退官し、地元で勤めたいという方もいる。 そのような方に仕事の斡旋や民間の雇用団体にも斡旋している。F委員が言ったとおり、住み続けるということが大切。 恵庭で働き続けることを促進していく取組みも必要と考える。
C委員	ガーデンデザインプロジェクトの〈工業団地の用途拡大〉は移住定住、就労先とリンクし、5年以内に形になると思うが、 時間軸、規模はどのように進むのか教えていただきたい。
市長	ここは2つに分かれている。工業専用地域で、それ以外のことができないかという要望があり、用途の拡大もう少し考えてみようというのが上のほう。 下は新たな工業団地。恵庭で持っている工業団地は全てなくなっていて、斡旋や紹介をやっている。自分のものを売る状況ではないが、斡旋で進出した企業が何十社もあり、恵庭が工業として注目されていることは確かだと思う。 新たな工業団地ができないかと今勉強し、事業手法、地権者との関係、現段階での問い合わせも調査している。 働く場所があると、進出してきた企業も雇用増になっていますし、進めていきたいと思う。 市有地がなくなってから大きな工場の引き合いがあったが、オーダーに叶わない。やはり他のところにしている。
C委員	恵庭の建設業者が恵庭市でない土地を仕入れている。それなりに人が移って売れる。最近、札幌近郊の不動産を仕入れ、そこで住宅を建てることが増えている。なので、道の駅裏の住宅販売価格は慎重に価格設定したほうがいい。 土地の利益はなくてもいいくらいの価格設定にした方が、地元業者、販売のスピード、事業者収益もみんな良い関係になると思う。
市長	私たちは事業者ではなく、行政にできることは限られていて難しい面もあるが、 良いまちをつくっていただけるよう協力してやっていきたい。
座長	改定した総合戦略の今後の進め方について。恵庭は社会増ということで地方部と比べると恵まれた状況下にある。 国が地方創生で進めた総合戦略とどう向き合っていくか、地方自治体にとって大きなテーマで、厳しい課題もあった中で、総合戦略を策定した翌年にしっかりと改定された動きは他の地域にない大きな特徴だと思う。 北海道内の市町村の総合戦略に係る取組みアンケートをやっているところだが、総合戦略策定後、恵庭のように改定の動きがあるのは全道の中でもだいたい5%程度。政策を有効に活用しながら、まちづくりの政策を進めている特徴を良い意味で売りにして政策の発信につなげていただきたい。 提案が一つ。台湾投資の話がありましたが、恵庭というまちがどういうまちなのか、まち中も都心もガーデンデザインプロジェクトを進めているという発信が、今の取組みも全部つながっていく。ぜひ、そういう形で総合戦略改定版を使っていただきたい。総合戦略の扱い方を良い意味で工夫していけば、素晴らしい取組みにつながると感じている。 総合戦略改定案について、いただいた意見に対応するという条件でご了承いただくことでよろしいか。

